

2016 年 4 月 1 日

空襲・戦災を記録する会

全国連絡会議関係団体・関係者の皆様へ

空襲・戦災を記録する会全国連絡会議

第 46 回仙台大会運営委員会

空襲・戦災を記録する会全国連絡会議 第 46 回仙台大会へのご案内

今年は戦後 70 年の節目を経たリスタートの年、この第一歩の大会を、仙台で開催することになりました。1971 年の東京から始まった全国大会は、北は函館より南は那覇に至る 33 都市を会場に、ほぼ半世紀に亘って引き継がれてきました。この前の仙台大会は、戦災復興記念館開設 2 年後の 1983 年ですから、33 年も前のことになります。今大会を運営する私達は微力で、とても東北全体を繋ぐ余力もありません。仙台の課題を見つめ、身の丈に合った大会を企画することで、71 年目の再出発といたします。情報交換や啓発だけでなく、当地の自然や食を満喫していただき、仙台らしい大会を、皆様と創りあげることができたら幸いです。企画の主眼は、

- ① 戦災復興記念館が早期に開設された仙台は、逆に米軍資料から見た空襲像がまだ広く浸透しているとは言えません。この観点から日本および仙台の空襲についてお話頂き、情報を市民の方々と共有したいと考えます。
- ② 仙台は河岸段丘上に発達した街です。段丘崖に掘られた防空壕の幾つかは貴重な遺構として現存し、またそれらに関連する行政文書も保存されています。調査・研究活動に関する報告では、今回、各地との連携により防空壕等に関するシンポジウムを企画しました。日本各地域やドイツの実態、および戦争末期の防空政策についての知見を深め、その現代的な意味を考えたいと思います。
- ③ 記録・継承等の活動を全国の皆様にご報告頂き、その知恵を共有することも貴重な経験となるでしょう。

当地域は、2011 年に東日本大震災に見舞われ、甚大な被害を受けました。特に 70 年前、艦載機に襲われた太平洋沿岸地域は、大津波により多くを失いました。震災から 5 年経った現在の姿を、実際に見て、感じて、考えていただければと、県沿岸部へのオプションバスツアーを計画しております。仙台大会は宮城県だけではなく福島県、岩手県の方々の協力を得、被災 3 県で準備いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

第 4 6 回仙台大会要項

※26-27 日のプレ企画・米軍資料研究会、28 日の市内戦跡めぐり、29 日の沿岸部バスツアーはオプションです。

1. 大会開催日

8 月 26 日（金・夜間）27 日（土・午前）プレ企画・米軍資料研究会

8 月 27 日（土・午後）本大会 1 日目

8 月 28 日（日・午前）本大会 2 日目

（日・午後）市内戦跡めぐり

8 月 29 日（月・全日）沿岸部バスツアー

2. 会場（米軍資料研究会および本大会）

仙台市戦災復興記念館 地下展示ホール

住所 〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2 丁目 12-1

大会のお知らせは今回だけです。問い合わせは下記事務局へ



仙台市戦災復興記念館

連絡・問合せは 第 46 回仙台大会事務局へ

〒981-0922 仙台市青葉区鷺ヶ森 1-6-20（新妻博子） TEL:022-271-5574 e-mail: sendai.ar46@gmail.com

※ 夏場の仙台は混雑が予想されます。是非、ホテル予約はお早めに

※ 大会初日に報告内容を冊子印刷して配布します。事務軽減の為、どうか締切等諸々ご協力ください

※ 送付内容 1. ご案内（この文書） 2. 参加申込書 3. 会場周辺地図

3. 日程の概略

プレ企画・米軍資料研究会 8月26日(金) 18:00~20:30, 27日(土) 9:00~12:00 ※

本大会 第1日目 8月27日(土) 13:00~18:30

- 1) 記念講演 「米軍資料から見た日本空襲と仙台」 講師: 工藤洋三氏
- 2) 東北3県からの報告 仙台・岩手・福島
- 3) 全国各地の会の活動報告 これから募集. 希望者は事務局へ5/31までメールかTelで連絡を
懇親会 19:00~21:00 ※

本大会 第2日目 8月28日(日) 9:00~12:30

- 1) シンポジウム「防空施設(防空壕等)と防空政策」 青木哲夫氏の小講演, 国内各地とドイツの事例
- 2) 大会まとめと次回開催地挨拶
市内戦跡めぐり 13:30~16:00 (川内の陸軍跡地~角五郎丁~中島丁の防空壕など) ※
(グループ毎)

沿岸部バスツアー 8月29日(月) 8:30~16:30 ※

仙台市戦災復興記念館~女川~雄勝~石巻市大川小~仙台市荒浜海岸~仙台駅

(※印はオプション)

4. 参加費

- ・大会参加費 参加費 土日参加: 2000円 1日のみ参加: 1000円 学生: 無料
- ・懇親会 4000円 (会場: 居酒屋「ぼんてん漁港」)
- ・市内戦跡めぐり 1000円 (弁当・お茶・交通費・資料代)
- ・沿岸部バスツアー 5000円 (交通費・弁当お茶・保険等) 先着40人 / 申込は5月31日迄

5. 参加申込 参加申込(振替払込)締切は6月30日 大会参加者は先着140人

- ・申込み方法 別紙の申込み用紙に必要事項を記入して郵送またはメールで事務局へ (FAXは不可)
- ・大会参加費・懇親会費・市内戦跡めぐり・沿岸部バスツアーは、いずれかの口座に6月30日迄送金して下さい。

①郵便振替口座	18150-41906681 口座加入者名 空襲戦災を記録する会全国連絡会議仙台大会運営委員会
②ゆうちょ銀行 (振込)	店番号 818 普通預金 口座番号 4190668 口座名義 空襲戦災を記録する会全国連絡会議仙台大会運営委員会

6. 活動報告申込者の原稿締切と原稿体裁

- ・活動報告申込者はワード作成原稿とpdfを、6/30必着でメールに添付し事務局へ送付。一太郎の場合はテキスト保存ファイルとpdfを送付して下さい。原稿の体裁は、A4判2ページまで/明朝体/10~10.5ポイント/上2.5左右下2cmの余白を取る/2段組・1段組どちらでも可/新聞記事の転載は載せません。
- 大会初日に、プログラムと報告を印刷した冊子を配布します。締切に間に合わない原稿は掲載されません。
間に合わなかった原稿は大会当日、各自指定された場所に置き、参加者にお取りいただく形になります。
- ・報告時間は5/31以降に連絡します。発表はPower Pointを使用できますのでUSBメモリーで持参して下さい。

7. 米軍資料研究会

日時, 会場は上記. 参加費 1000円 (「空襲通信」込) は当日徴収

参加・報告申込, および問い合わせは, 工藤洋三氏 ykudo@bronze.ocn.ne.jp へ直接お願いします.
〒745-0121 周南市須々万奥 286-3 FAX 0834-88-2776

8. 書籍や配布資料の送付日と宛先

販売用書籍や各会の配布資料は、8/19~8/25必着で, 〒981-8003 仙台市泉区南光台 3-8-4 佐藤陽子宛 (TEL: 022-797-0097) へお送り下さい。この日以外の荷受けはできません。

各会の配布資料 (活動報告を除く) がある場合は、150部を「配布資料在中」と明記して送って下さい。